

女性の働き方やライフプランに関する講座等の実施 (女性活躍推進事業)【芦屋市】

個別事業費	104 千円
交付金額	52 千円

地域の実情と課題

本市の総人口は減少傾向であり、年少人口（0～14歳）は年々減少し、令和5年3月末では人口の約11.9%となっている。本市では社会環境の変化に応じた就学前教育・保育施設の整備や子どもたちが放課後などを安全・安心に過ごせる居場所づくりなど仕事と子育てを両立できる環境整備を進めているが、令和3年実施の芦屋市男女共同参画に関する市民意識調査により、希望に応じた働き方の実現や、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題であることがわかった。

事業の特徴

結婚・出産・育児などのライフイベントを理由に会社を退職したり、事業の休業や廃業をしたり、また、就業等を継続する場合でも、仕事復帰に向けた不安や、仕事と家庭生活の両立に関する悩みを抱えている女性は多いため、女性が望む活躍への支援のため、女性の不安を減らし、自分に合った働き方やライフプランを提案できる講座等を開催した。

事業の効果

ハローワーク西宮や日本政策金融公庫と連携し、就労や起業に関する知識取得に向けた講座を開催したことにより、参加者には、最新の情報提供を行うことができたほか、就労・起業支援を行う中での具体的なお困りごとに対応した講義内容を提供できた。

目的・目標

受講者数の目標を35人以上としていたところ、74人（働き方セミナー5人、家族会議のススメ：オンライン23人、就労支援講座13人、50代60代向け講座14人、起業準備講座19人）で目標を達成した。また、事後アンケートにより、再就労した、又は概ね1年以内に再就労等の予定ありと回答した女性は4人で目標（4人以上）を達成した。

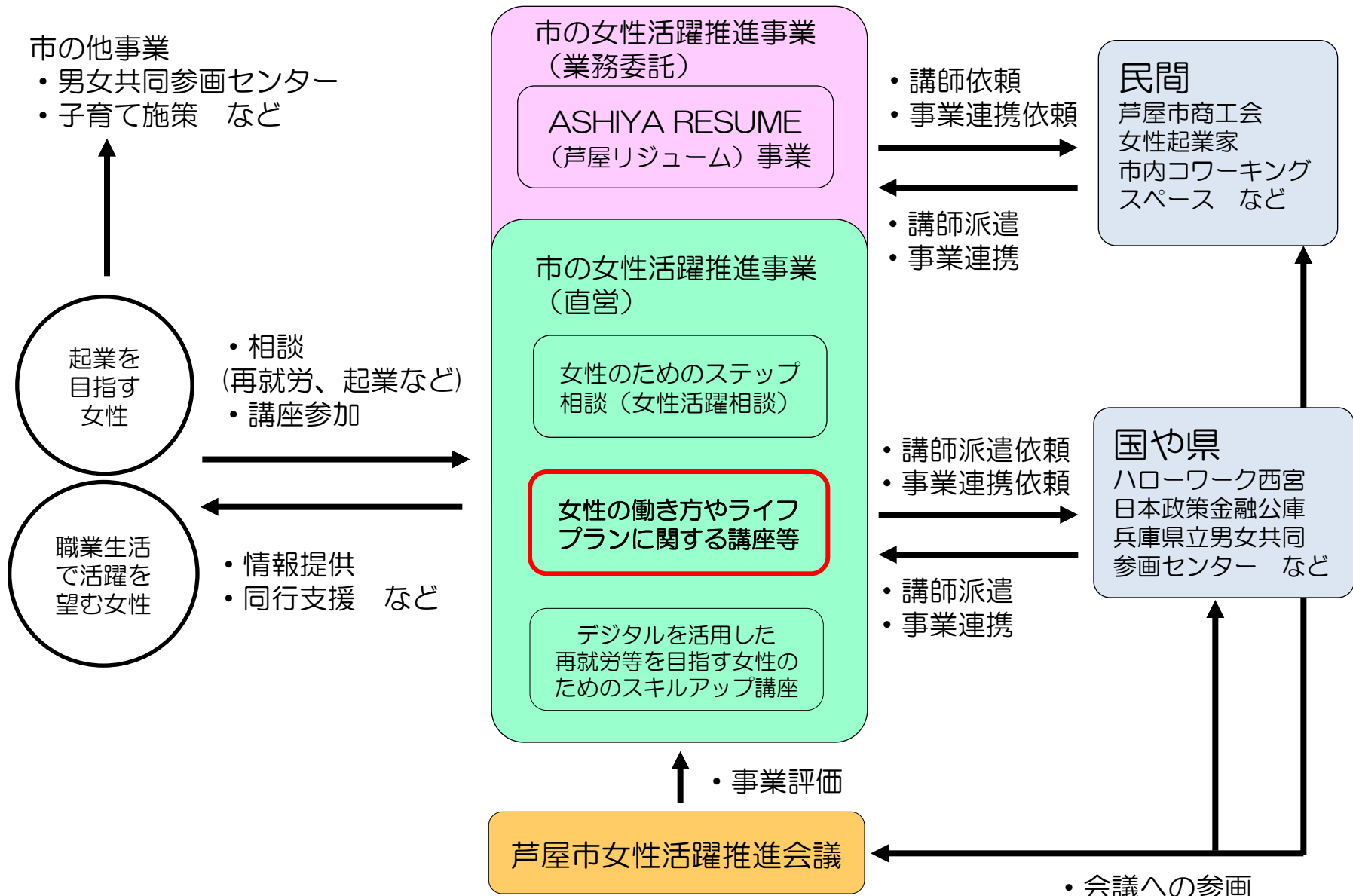
連携団体

ハローワーク西宮、日本政策金融公庫、兵庫県立男女共同参画センター、近隣各市の男女共同参画センター、女性活躍推進会議委員の所属先、市内保育所・幼稚園等

今後の課題

事業によっては、申込者が少ないものもあるが、講座内容によっては、講師・参加者同士でコミュニケーションをとる必要があり、少人数での開催が望ましく、定員や目標数値の設定については精査が必要である。また、オンラインを活用した講座もニーズはあると考えられるため、引き続き、実施する。

事業の概要



※学識経験者、団体代表
就業・起業支援者、行政関係者